

視聴覚教育時報

No.712 2018年 12月号

contents

- ▽平成 30 年度 全国大会・広島大会報告①—全視連理事会、セミナー、実践発表など実施
- ▽講師派遣事業 平成 30 年度メディア研修特別講演会—新潟県立生涯学習推進センター
- ▽専門委員日より「視聴覚教材を使用した『平泉出前講座』」桑原玲子
「『わくわく映画館』を通して」星 恭典
- ▽えすけーぷ

▽平成 30 年度 全国大会・広島大会報告①—全視連理事会、セミナー、実践発表など実施

去る 11 月 16 日（金）・17 日（土）の両日、第 22 回視聴覚教育総合全国大会並びに第 69 回放送教育研究会全国大会合同大会が、「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」をテーマに、広島市の国際会議場をメイン会場として開催された。1 日目は各会場校・施設において公開保育・授業を実施、全視連は広島市映像文化ライブラリーにおいて施設見学や事業紹介、意見交換会を内容として 29 名の参加者を得て実施した。



意見交換会

○全視連理事会

施設見学や意見交換の後、全視連の理事会を同ライブラリーにおいて実施した。理

事会では平成 30 年度事経過報告書（案）および同中間決算報告書（案）が議事として提案され、異議なく承認された。

なお、本年度は全国公立視聴覚センター連絡協議会の総会は文書にて承認を得ることとなった。

○功労者表彰式

夕刻より会場をひろしまおりづるタワーに移し、各団体の功労者表彰式が執り行われ、全視連は 7 名の功労者のうち 3 名の方々に出席いただき、生田孝至会長から盾を一人ひとりに授与された。その後のレセ



功労者表彰式



全視連セミナー

プシオンでは関係者 150 名が出席し盛大に行われた。

○セミナー／実践発表

2日目午前には6つのセミナー・ワークショップが実施され、全視連ではセミナー「視聴覚ライブラリーが地域メディアセンターとなるために」をテーマに実施した。

午後からは11の実践発表があり全視連は「子どもを対象にした事業への取り組み」をテーマに佐藤武氏（広島市映像文化ライブラリー）、「小学校における映像制作学習支援と地域映画会・特別映画会の開催」をテーマに渡辺景一氏（日立市視聴覚センター）、「感性を育み知性を磨く機能と役割に期待する」をテーマに丸山裕輔氏（全視連副専門委員長・新潟県阿賀町立上条小学校長）による発表が行われた。

○全体会

開会式では本大会の大石信洋実行委員長の開会の辞、全国放送教育研究会連盟・銭谷眞美理事長の主催者挨拶に続き、柴山昌彦文部科学大臣祝辞が文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課の佐藤由郎専門官により代読された。

○NHK プレゼンテーション／大会のまとめ

そのほか全体会では NHK for School の番組やウェブサイトの内容や制作コンセプト及び教育活用における視点を NHK 制作者によるプレゼンテーションの実施や、大



開会式



大臣祝辞



対談

会コーディネーターである園田学園女子大学の堀田博史教授による「大会のまとめ」などが行われた。

○対談

広島市出身の作家・和田竜氏により「未来を創造する力」をテーマに広島市立川内小学校の山田明美校長との対談を行った。

▽講師派遣事業 平成30年度メディア研修特別講演会—新潟県立生涯学習推進センター—

全視連の講師派遣事業を活用し、関東学院大学国際文化学部教授の吉田広毅氏を講師として、表記研修会の講演が実施された（写真）。

1. 日時：8月3日（金）13:30～15:30
2. 会場：新潟県立生涯学習推進センター
3. 参加者：小学校・中学校・高等学校、行政職員など28名
4. 講師：吉田広毅教授（関東学院大学国際文化学部）
5. 講演テーマ：「レッツ スタート！プログラミング教育必修化に向けて」
6. 講演内容
 - (1) プログラミング教育必修化に向けて今何をすればよいか
 - ① プログラミング教育を通じて目指す育成すべき資質・能力について（・生きて働く「知識・技能」の習得・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養※英国、オーストラリ



アの事例紹介)

- ②カリキュラム作成の手順について（・11項目の具体的な提示・カリキュラム作成に際してのニーズ※相模原市の授業づくりの視点の事例紹介・カリキュラム作成の基準）
 - ③カリキュラム開発にあたってのスコープとシークエンスの決定（・学習者行動の分析・学習行動の測定と評価・会目標と学習内容の分析・系統化）
- (2) ワークショップについて（・4人グループでの話し合い（20分間）・各グループでの意見交換）
 - (3) 全体を通しての質疑



▽専門委員だより「視聴覚教材を使用した『平泉出前講座』 桑原玲子

岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所主任社会教育主事

桑原 玲子（全視連専門委員）

盛岡教育事務所では、平成 29 年度から中央地域視聴覚ライブラリーと連携し、一般県民を対象とした「世界遺産『平泉』出前講座」を実施している。この事業は「世界遺産『平泉』」に対して興味関心を高め、郷土に誇りを持ってもらうことが目的である。

内容は講義と映写の 2 部構成である。講義はパワーポイントを使用して行い、映写は 16 ミリフィルム「中尊寺」（昭和 25 年に行われた藤原氏親子 4 代のご遺体調査）と DVD 「世界遺産よみがえる金色堂」（昭和 37 年から 7 年間かけて行われた中尊寺金色堂の復元工事の記録映像）の選択である。

講義の後に、関連した映写を視聴することで、受講者の興味関心や理解がより深いものとなった。

＜受講者の感想より＞

- 貴重な文化財への理解が深まり、愛着がわいた。昔の映像を見ながら当時のことを思い出す出来事が多々あった。
- 上映された 16 ミリフィルムにより、当時の学術調査やご遺体の状態等、貴重な映像を見ることができ、史実をより身近なものとして学ぶことができた。



映写の様子



講義で使用するパワーポイント

▽専門委員だより「『わくわく映画館』を通して」

仙台市教育委員会生涯学習課主幹 星 恭典（全視連専門委員）

本市では、幼児・児童を対象に、優れた映画を観賞する機会として「わくわく

映画館」を実施しています。これは、せんだいメディアテークに備えられている

映画・録画教材（16 mm）を紹介するとともに、社会教育における教材映画の利用を促進し、子どもの健全育成を図ることをねらいとした事業です。平成 30 年度は、12 会場で開催しました。

実際の運営は、仙台視聴覚同好会に委託し実施しています。今では、めったに見ることができない 16 mm 映写機を使っ
ての映画会を、地域で楽しみにしている児童も多くいます。映写中に聞こえる「カタカタカタ」という音は、いかにも懐かしく、児童の付き添いの保護者の方が、より興味を示して映写機の周りに集まり、興味津々で説明を聞いている場面もよく

見かけます。

現代社会において、視聴覚・情報分野の進展は目まぐるしいですが、この「わくわく映画館」に参加するたびに、改めて、「不易」と「流行」という言葉のもつ意味を考えさせられます。



▽えすけーぷ

▽広島市での全国大会終了

全国大会では、広島市映像文化ライブラリー見学、全視連関係のセミナーや実践報告等で、これからの視聴覚ライブラリーの在り方や優れた事業実践等が報告され有意義な大会となりました。

参加された会員の方々は無論広島大会の情報をご覧になった視聴覚センター・ライブラリー関係の方々も大きな示唆を受けることができたと思います。

例年（一財）日本視聴覚教育協会が発行している視聴覚センター・ライブラリー一覧を見ると、全国の設定総数は 47 都道府県で、550 施設を僅かに下回る程度の施設が活動を行っているようです。しかし、そのすべての視聴覚センター・ライブラリーが国や県レベルの組織（全視連や県視連等）に加盟している訳ではなく、ライブラリーの中には、単独で教材貸出だけを、兼務職員が担当して行っている所もかなりあるようです。

それらの視聴覚ライブラリー関係者にも、全国大会での広島市映像文化ライブラリーの様子やメディアセンター化構想、優れた実践例が情報として伝わり、それぞれが行っているライブラリー業務を再確認して頂く機会を作れたらと思います。

▽見直される上映会活動

全国大会でも報告されていますが、各地方で視聴覚ライブラリーが主催あるいは後押しした映画上映会が盛んに行われているようです。

よく、“映画の時代ではない“と言われますが、現実を見るとそれぞれの地域でボランティアの方々が中心となって、公民館や保育所・老人施設等で上映会が盛んに行われ成果を上げています。

地味な目立たない活動ですが地域における視聴覚ライブラリーのひとつの役割を確認したような気がします。(m)

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

道徳・特別活動

いじめ 心の声に気づく力

小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。一見遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていれば「いじめ」であることを理解し、傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。



(19分)

指導の手引書・ワークシート付き

66,000円(税抜)

いじめ 一歩ふみ出す勇氣

中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救ってほしいとする感動的なストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。



(19分)

指導の手引書・ワークシート付き

66,000円(税抜)

小学校 社会科

なぜなに社会科 映像資料集

DISC1 飲料水・電気

知りたい! 浄水場 (11分)

知りたい! 火力発電所 (11分)

知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

DISC2 ごみ処理・下水道

知りたい! 清掃工場 (10分)

知りたい! 資源のリサイクル (13分)

知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見ていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金亀小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

小学校 道徳・特別活動・防犯

情報モラルを身につけよう!

小学生のスマホの安全な使い方教室

1巻 自分も相手も傷つけないために (21分)

2巻 危険な目にあわないために (18分)

スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方を知りやすく解説した作品です。情報モラルを身につけることの大切さを子供たちに訴えます。

監修：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄



教育映像祭優秀賞受賞

各巻 66,000円(税抜)

2巻セット 120,000円(税抜)

文部科学省特別選定
学校教育教材・社会教育(教材)

指導の手引書・ワークシート付き

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03 (3535) 3613 FAX03 (3535) 3632



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17



予告編
配信中

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>